

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

社会系科目に興味があるもの、自分自身の学びたい領域や希望進路が曖昧だった私にとって、幅広い分野の学びが可能な社会システム学科は魅力的であり、校風にも惹かれたため、志望しました。

受験勉強の進め方【1学期】

特定の科目に特化することなく、選択している授業に沿って満遍なく学習することを意識していました。問題演習や単語学習に疲れたり、空いた時間ができたりしたときには、地歴公民の資料集を眺めるようにしていました。他の科目でも知識として生きてくることもあったので習慣にしていたように思います。

受験勉強の進め方【夏休み】

共通テスト対策の補講もあり、予習・復習・課題に追われていたが、その中で自分流の長文の解き方や効率の良い回答の順番、時間配分を確立することができたと思います。評論や英語長文はとにかく早く正確に内容を把握し、理解することができたか、が勝負です。アンダーラインの引き方や印の付け方など、身につけておくとスピード感をもって読み進めることができるのでおすすめです。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

夏休みまでに苦手分野を明らかにしておく対策がスムーズに行えました。基本は演習で、間違えた問題は教科書レベルから見直しました。大学の出題傾向に合わせた暗記にはより層力を注ぎました。2学期からは質より量だと思えます。それまでに基礎をしっかり定着させて、より多くの問題に取り組めると良いと思います。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

私自身、「まとめノート」を作ると、綺麗なノート作りに意識をもってってしまうので、専用のノートは作りませんでした。演習中、間違えた問題の隅に教科書や資料集で参考にした資料を写していました。同じ問題を間違えたとしても、何度も書いていこうちにインプットされます。自分が時間をかけるべきところを見極めて、計画的に学習を進めることをおすすめします。

受験生のみなさんへ

入試当日、リラックスして試験に臨めるのが良いかもしれませんが、緊張するのは今までの積み重ねがあるからこそだと思います。たくさん頑張ってきたんだ、と自信を持って本番を迎えるためにも、後悔のない受験期を過ごしてください。困難も失敗も、すべてが人生の糧になっていきます。諦めることなく、自分のペースで力を尽くすことで、自分の道を切り拓いてほしいなと思います。体調管理を第一に、頑張ってください。

